

「チマ・チョゴリ切り裂き事件は自作自演」という悪質なデマ

-朝鮮学校生へのヘイト・クライム(差別犯罪)-

▶ 「チマ・チョゴリ切り裂き事件」をご存知ですか。

1987年の大韓航空機墜落事件を皮切りに、各地の朝鮮学校の生徒や児童に対するヘイト・クライム(差別犯罪)やヘイト・スピーチ(差別扇動表現)が頻発しました。その中で象徴的に語られてきたのがチマ・チョゴリ切り裂き事件です。

ところが現在、このチマ・チョゴリ切り裂き事件が「在日朝鮮人(もしくは朝鮮総連)による**自作自演**だ」という主張が聞かれます。きっかけは2005年に出版された『マンガ嫌韓流』(山野車輪著/晋遊舎)でした。この中に、チマ・チョゴリ切り裂き事件が朝鮮総連による「自作自演」だと示唆するような記述があります。その説の根拠として挙げられているのがルポライターきむ・むい氏によって発表された「チマ・チョゴリ切り裂き事件の疑惑」という記事(「宝島30」1994年12月号)です。これを受けて、ネットなどでは「切り裂き事件が朝鮮総連による自作自演だったことが判明した」などと書かれています。

しかしこれは**まったくのデマ**です。実際に記事を読めば分かりますが、きむ・むい氏の記事は「**自作自演**」などという主張は一切していません。

きむ・むい氏は「国際情勢や日本国内世論が北朝鮮にとって圧倒的に不利になると、なぜかチマ・チョゴリは切られだす」ことなどについて「うさん臭い」と言い、「では、それ以外の年には、朝鮮学校の女子生徒に一件の被害も発生していないのだろうか。もしそうなら、それはそれでずいぶん不思議な話である」と疑問を呈し、取材を行います。その結果、「北朝鮮関連で、とくに何かが起こった年とは言えない」「何もなかった年」にもチマ・チョゴリ切り裂き事件が起きていました。すなわち「北朝鮮にとって不利な時」以外にもチマ・チョゴリ切り裂き事件や朝鮮学校生徒への嫌がらせ事件は起きていたのです。氏は恒常的な生徒の被害に対する朝鮮学校や朝鮮総連の対応、報道するメディアの姿勢について批判はしていますが、事件を「自作自演である」とはしていません。

また「元朝鮮総連幹部の韓光熙氏が出版した『わが朝鮮総連の罪と罰』(文藝春秋社)に、切り裂き事件が自作自演だったと書かれている」という「説」がまことしやかに流れています。しかし**これもまったくのデマ**です。そもそもこの本では「チマ・チョゴリ切り裂き事件」自体に触れていないのです。

▶ 「自作自演」説がもたらす二次被害

このように、少し調べるだけでもこうした説が事実無根であることは明らかになるのですが、この「自作自演」説は現在深刻な二次被害をもたらしています。チマ・チョゴリ切り裂き事件だけでなく、他のヘイト・クライムや差別に対する告発に対しても「どうせ自作自演だろう」というような心ない言葉が投げつけられる事例が頻発しているのです。酷い例だと、在特会などによる極めて凶悪なヘイト・スピーチすら「自作自演」と決めつけるものもあります。

差別による被害を訴えることは第三者が想像するほど簡単ではありません。被害を訴えても、直ちに事態が改善するわけでも、傷が癒されるわけでもなく、またある意味で自分の弱みをさらけ出すことでもあります。できれば忘れてしまいたい、なかったことにしてしまいたいと思う人がほとんどです。そうした中、ごくわずかな人々が勇気をふりしぼって声をあげる。そうした声に「自作自演」だとレッテル貼りをする行為は①被害をなかったことにし、②責任を被害者・被差別者側に押し付け、③被害告発の声を抑圧・封殺する、という点で何重にも悪質なのです。

▶ 朝鮮学校と「共に生きる」社会の実現を！

戦前、自分たちの言葉や文化を学ぶ機会を奪われていた朝鮮人の子どもたちが、言葉や文化、ひいては民族の誇りとアイデンティティを取り戻すために戦後まもなく設立された朝鮮学校は、その当初から当局に弾圧されるという逆境に見舞われました。現在でも高校無償化制度からの除外や各自治体による補助金打ち切りなどによる差別に加え、京都朝鮮学校襲撃事件(2009年)のような悪質なヘイト・クライムの被害にも遭っています。

朝鮮学校は、長年地域社会との交流を深めてきました。交流会や授業の公開など、現実の朝鮮学校やそこに通う生徒や関係者と触れ合う機会は数多くあり、広く開かれています。その事をどれだけの日本人が知っているでしょうか。

チマ・チョゴリを通学用の制服としない事で切り裂き事件はなくなりましたが、政治による朝鮮学校への差別、朝鮮学校襲撃というヘイト・クライム、ネットや街頭でのヘイト・スピーチはいまだに続いています。今はチマ・チョゴリではなく、心をヘイト・スピーチというナイフで切り裂かれ、その痛みにより血が流れ続けています。

日本社会からこういった差別やヘイト・スピーチ、ヘイト・クライムをなくしていくために何ができるのか、何をすべきなのか。私たち1人1人が今、その責任を問われています。

誰もが差別される事のない社会にしていくために。

▼ 参考書籍・サイト

- ▶【BOOK】『知っていますか、朝鮮学校』 朴三石[著] 岩波ブックレット
- ▶【BOOK】『狙われるチマ・チョゴリー逆国際化に病む日本』 朝鮮時報取材班[編] 柘植書房
- ▶【BOOK】『パチンコと兵器とチマチョゴリー演出された朝鮮半島クライシス』 姜誠[著] 学陽書房
- ▶【BOOK】『ルポ 京都朝鮮学校襲撃事件 -〈ヘイトクライム〉に抗して』 中村一成[著] 岩波書店
- ▶【BOOK】『「マンガ嫌韓流」のここがデタラメ - まじめな反論』 朴一/太田修ほか[著] コモンズ
- ▶【WEB】 反「嫌韓」FAQ(仮) <http://seesaawiki.jp/against-hatespeech/>

反「嫌韓」FAQ(仮)

<http://seesaawiki.jp/against-hatespeech/>



ARP Anti-Racism Project

<https://antiracismproject.wordpress.com/>

